

ダイワ米国 バイバック・ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第15期

(決算日 2021年9月21日)

(作成対象期間 2021年3月19日～2021年9月21日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国企業の株式等の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5624>
<5625>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	10年間（2014年3月19日～2024年3月18日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

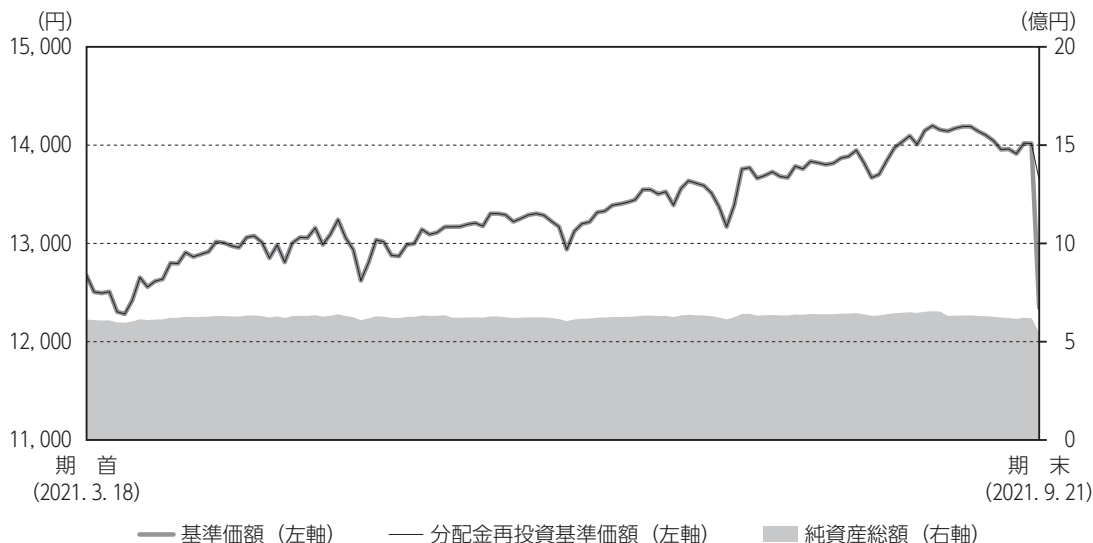
決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期末(2019年 9月18日)	10,985	0	2.5	16,054	6.5	98.4	—	797
12期末(2020年 3月18日)	8,756	0	△ 20.3	13,509	△ 15.9	94.3	—	531
13期末(2020年 9月18日)	10,798	200	25.6	17,930	32.7	96.3	—	619
14期末(2021年 3月18日)	12,673	1,300	29.4	21,226	18.4	96.1	—	612
15期末(2021年 9月21日)	12,347	1,300	7.7	23,275	9.7	96.3	—	546

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P 500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期 首：12,673円

期 末：12,347円（分配金1,300円）

騰落率：7.7%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資した結果、米国で追加経済対策が発表されたことや、良好な企業業績の発表を受けて景気回復期待が高まったことなどを背景に米国株式市況が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2021年 3 月18日	円	%		%	%	%
	12, 673	—	21, 226	—	96. 1	—
3 月末	12, 616	△ 0. 4	21, 143	△ 0. 4	98. 8	—
4 月末	13, 157	3. 8	22, 494	6. 0	96. 7	—
5 月末	13, 170	3. 9	22, 455	5. 8	99. 5	—
6 月末	13, 402	5. 8	22, 923	8. 0	97. 6	—
7 月末	13, 728	8. 3	23, 603	11. 2	97. 6	—
8 月末	14, 199	12. 0	24, 189	14. 0	97. 9	—
(期末) 2021年 9 月21日	13, 647	7. 7	23, 275	9. 7	96. 3	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 3. 19 ～ 2021. 9. 21）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国で追加経済対策が発表されたことや、新型コロナウイルスのワクチンの接種が進んで新規感染者数が減少したことなどが好感され、上昇しました。その後は、インフレ懸念の高まりや金融緩和縮小の早期化観測などから一時的に調整する場面はあったものの、ワクチン接種の進展を受けて種々の行動制限が解除されたことや良好な企業業績の発表などが好感され、史上最高値を更新しました。当作成期末にかけては、中国の不動産開発大手企業のデフォルト（債務不履行）懸念から世界的にリスク回避の動きが強まり、上げ幅を縮小しました。

前作成期末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 3. 19 ～ 2021. 9. 21）

■当ファンド

主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

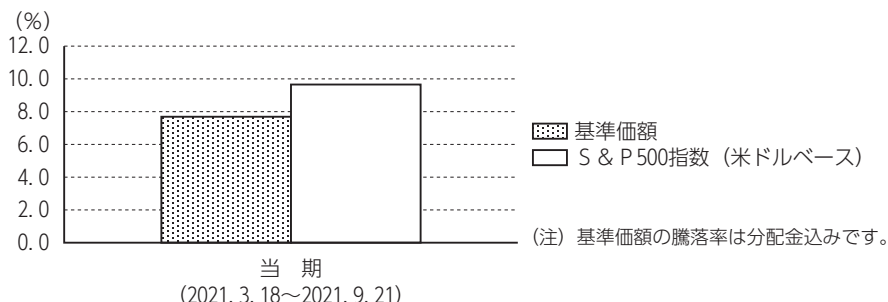
ポートフォリオは、米国のバイバック企業に投資し、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。業種別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、コミュニケーション・サービスセクターの組入比率を高位に維持しました。個別銘柄では、各企業の時価総額や成長性、株価バリュエーションなどを総合的に勘案し、MICROSOFT CORP（情報技術）、APPLE INC（情報技術）、ALPHABET INC-CL A（コミュニケーション・サービス）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P 500指数（米ドルベース））との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年3月19日 ～2021年9月21日	
当期分配金（税込み）	(円)	1,300
対基準価額比率	(%)	9.53
当期の収益	(円)	972
当期の収益以外	(円)	327
翌期繰越分配対象額	(円)	2,410

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 53.63円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	✓ 919.22
(c) 収益調整金	107.84
(d) 分配準備積立金	✓ 2,629.49
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	3,710.20
(f) 分配金	1,300.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	2,410.20

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 3. 19～2021. 9. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	124円	0. 930%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13, 338円です。
(投 信 会 社)	(60)	(0. 451)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(60)	(0. 451)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	10	0. 074	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(10)	(0. 074)	
有価証券取引税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	3	0. 021	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	137	1. 025	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

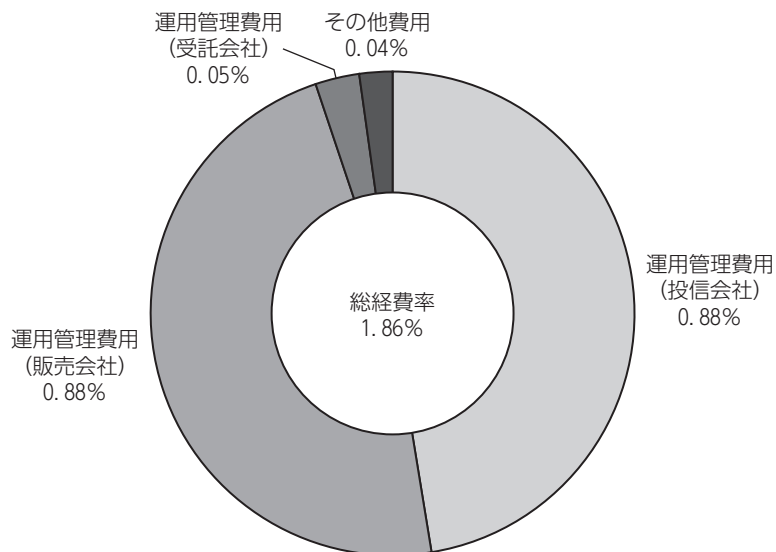
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年3月19日から2021年9月21日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	6,269	12,000	62,085	133,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年3月19日から2021年9月21日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,922,962千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,291,279千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.79

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	309,481	253,665	536,908

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年9月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	536,908	87.9
コール・ローン等、その他	73,965	12.1
投資信託財産総額	610,873	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.57円です。

(注3) ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,927,781千円)の投資信託財産総額(3,316,222千円)に対する比率は、88.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年9月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,162,388,780円
コール・ローン等	2,650,690
ダイワ米国バイバック・マザーファンド(評価額)	536,908,175
未収入金	622,829,915
(B) 負債	616,268,564
未払金	551,514,972
未払収益分配金	57,497,984
未払解約金	1,402,140
未払信託報酬	5,835,881
その他未払費用	17,587
(C) 純資産総額(A-B)	546,120,216
元本	442,292,188
次期繰越損益金	103,828,028
(D) 受益権総口数	442,292,188口
1万口当り基準価額(C/D)	12,347円

* 期首における元本額は483,191,171円、当作成期間中における追加設定元本額は5,096,865円、同解約元本額は45,995,848円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,347円です。

■損益の状況

当期 自 2021年3月19日 至 2021年9月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 627円
受取利息	38
支払利息	△ 665
(B) 有価証券売買損益	48,890,522
売買益	66,954,143
売買損	△ 18,063,621
(C) 信託報酬等	△ 5,860,986
(D) 当期損益金 (A + B + C)	43,028,909
(E) 前期繰越損益金	116,300,607
(F) 追加信託差損益金	1,996,496
(配当等相当額)	(4,770,012)
(売買損益相当額)	(△ 2,773,516)
(G) 合計 (D + E + F)	161,326,012
(H) 収益分配金	△ 57,497,984
次期繰越損益金 (G + H)	103,828,028
追加信託差損益金	1,996,496
(配当等相当額)	(4,770,012)
(売買損益相当額)	(△ 2,773,516)
分配準備積立金	101,831,532

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,372,352円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	40,656,557
(c) 収益調整金	4,770,012
(d) 分配準備積立金	116,300,607
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	164,099,528
(f) 分配金	57,497,984
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	106,601,544
(h) 受益権総口数	442,292,188口

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	1,300円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期末(2019年 9月18日)	11,369	0	0.6	17,127	3.3	99.0	—	3,202
12期末(2020年 3月18日)	9,010	0	△ 20.7	14,303	△ 16.5	95.2	—	2,238
13期末(2020年 9月18日)	10,843	250	23.1	18,533	29.6	97.1	—	2,479
14期末(2021年 3月18日)	13,322	1,300	34.9	22,804	23.0	97.0	—	2,695
15期末(2021年 9月21日)	13,034	1,400	8.3	25,143	10.3	96.8	—	2,427

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

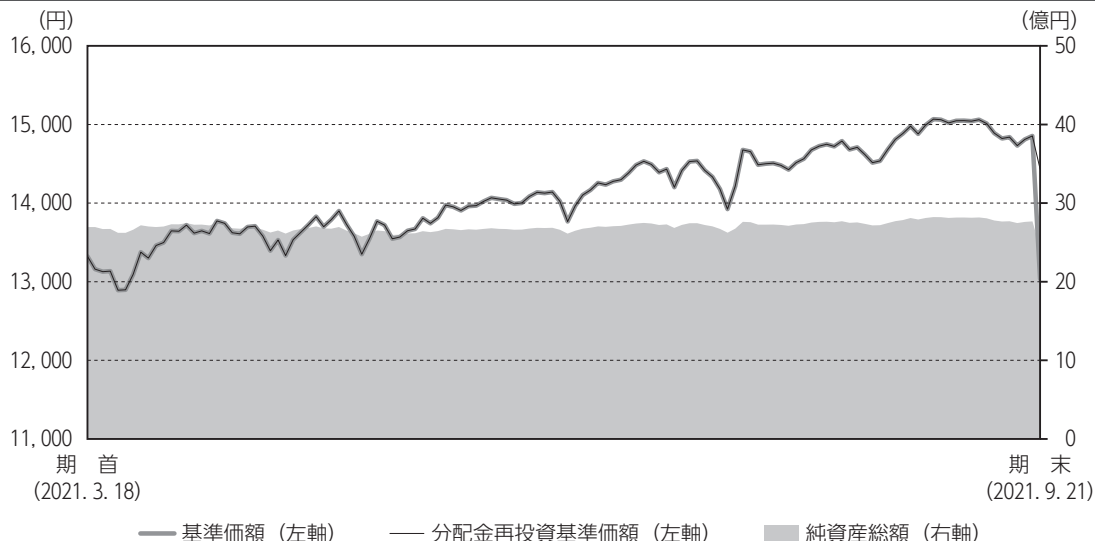
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期 首：13,322円

期 末：13,034円（分配金1,400円）

騰落率：8.3%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資した結果、米国で追加経済対策が発表されたことや、良好な企業業績の発表を受けて景気回復期待が高まったことなどを背景に米国株式市況が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。また為替相場においても、米ドルが円に対して上昇（円安）したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2021年 3 月18日	円	%		%	%	%
	13, 322	—	22, 804	—	97. 0	—
3 月末	13, 461	1. 0	23, 078	1. 2	97. 7	—
4 月末	13, 828	3. 8	24, 157	5. 9	97. 9	—
5 月末	13, 952	4. 7	24, 299	6. 6	98. 8	—
6 月末	14, 298	7. 3	24, 991	9. 6	97. 8	—
7 月末	14, 508	8. 9	25, 479	11. 7	98. 8	—
8 月末	15, 068	13. 1	26, 209	14. 9	98. 4	—
(期末) 2021年 9 月21日	14, 434	8. 3	25, 143	10. 3	96. 8	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 3. 19 ～ 2021. 9. 21）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国で追加経済対策が発表されたことや、新型コロナウイルスのワクチンの接種が進んで新規感染者数が減少したことなどが好感され、上昇しました。その後は、インフレ懸念の高まりや金融緩和縮小の早期化観測などから一時的に調整する場面はあったものの、ワクチン接種の進展を受けて種々の行動制限が解除されたことや良好な企業業績の発表などが好感され、史上最高値を更新しました。当作成期末にかけては、中国の不動産開発大手企業のデフォルト（債務不履行）懸念から世界的にリスク回避の動きが強まり、上げ幅を縮小しました。

■為替相場

米ドル為替相場は、当作成期を通して見ると対円で上昇しました。

当作成期首より、追加経済対策の成立や経済指標の改善によって米国金利が上昇したことなどから、米ドルは対円で上昇しました。その後はいったん下落（円高）しましたが、利上げ観測の高まりなどを受けて再び米ドルは上昇基調で推移しました。2021年7月以降は、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加を受けた景気への懸念や、物価上昇圧力の鈍化が意識されて米国金利が低下したことなどを受け、米ドルは小幅に下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 3. 19 ～ 2021. 9. 21）

■当ファンド

主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

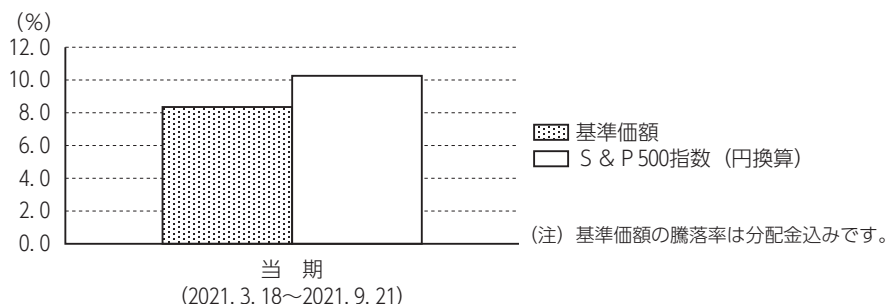
ポートフォリオは、米国のバイバック企業に投資し、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。業種別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、コミュニケーション・サービスセクターの組入比率を高位に維持しました。個別銘柄では、各企業の時価総額や成長性、株価バリュエーションなどを総合的に勘案し、MICROSOFT CORP（情報技術）、APPLE INC（情報技術）、ALPHABET INC-CL A（コミュニケーション・サービス）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P 500指数（円換算））との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年3月19日 ～2021年9月21日	
当期分配金（税込み）	(円)	1,400
対基準価額比率	(%)	9.70
当期の収益	(円)	1,104
当期の収益以外	(円)	295
翌期繰越分配対象額	(円)	3,180

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 57.40円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 1,047.22
(c) 収益調整金	419.65
(d) 分配準備積立金	✓ 3,056.56
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	4,580.84
(f) 分配金	1,400.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	3,180.84

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 3. 19～2021. 9. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	131円	0.930%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は14,124円です。
(投 信 会 社)	(64)	(0.451)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(64)	(0.451)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	11	0.075	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.075)	
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	3	0.020	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	145	1.025	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

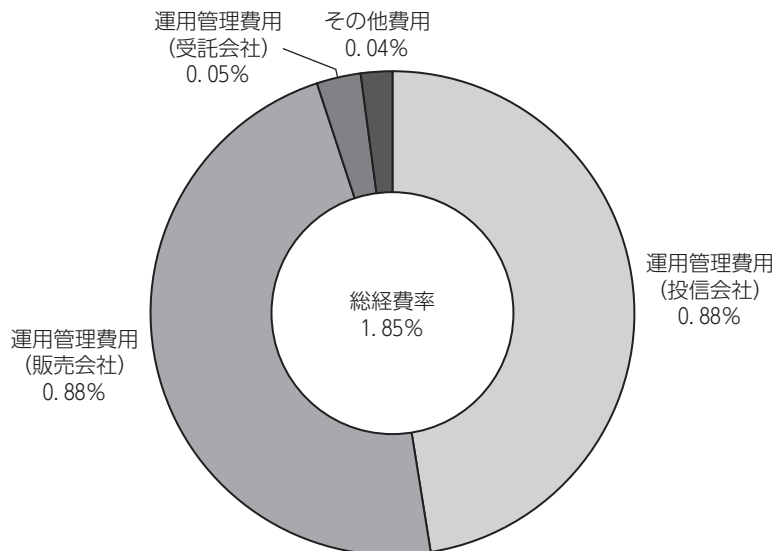
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年3月19日から2021年9月21日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	20,380	39,000	260,869	549,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年3月19日から2021年9月21日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,922,962千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,291,279千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.79

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	1,374,038	1,133,549	2,399,270

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年9月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	2,399,270	88.3
コール・ローン等、その他	316,655	11.7
投資信託財産総額	2,715,925	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.57円です。

(注3) ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,927,781千円)の投資信託財産総額(3,316,222千円)に対する比率は、88.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年9月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,715,925,700円
コール・ローン等	6,655,682
ダイワ米国バイバック・マザーファンド(評価額)	2,399,270,018
未収入金	310,000,000
(B) 負債	288,185,076
未払収益分配金	260,771,977
未払解約金	2,183,525
未払信託報酬	25,153,437
その他未払費用	76,137
(C) 純資産総額 (A－B)	2,427,740,624
元本	1,862,656,981
次期繰越損益金	565,083,643
(D) 受益権総口数	1,862,656,981口
1万口当り基準価額 (C/D)	13,034円

* 期首における元本額は2,023,187,465円、当作成期間中における追加設定元本額は39,666,256円、同解約元本額は200,196,740円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,034円です。

■損益の状況

当期 自 2021年3月19日 至 2021年9月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,533円
受取利息	33
支払利息	△ 1,566
(B) 有価証券売買損益	230,984,306
売買益	241,306,833
売買損	△ 10,322,527
(C) 信託報酬等	△ 25,229,575
(D) 当期損益金 (A + B + C)	205,753,198
(E) 前期繰越損益金	569,333,294
(F) 追加信託差損益金	50,769,128
(配当等相当額)	(78,167,066)
(売買損益相当額)	(△ 27,397,938)
(G) 合計 (D + E + F)	825,855,620
(H) 収益分配金	△ 260,771,977
次期繰越損益金 (G + H)	565,083,643
追加信託差損益金	50,769,128
(配当等相当額)	(78,167,066)
(売買損益相当額)	(△ 27,397,938)
分配準備積立金	514,314,515

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,691,858円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	195,061,340
(c) 収益調整金	78,167,066
(d) 分配準備積立金	569,333,294
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	853,253,558
(f) 分配金	260,771,977
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	592,481,581
(h) 受益権総口数	1,862,656,981□

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 □ 当 り 分 配 金	1,400円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

運用報告書 第15期（決算日 2021年9月21日）

（作成対象期間 2021年3月19日～2021年9月21日）

ダイワ米国バイバック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

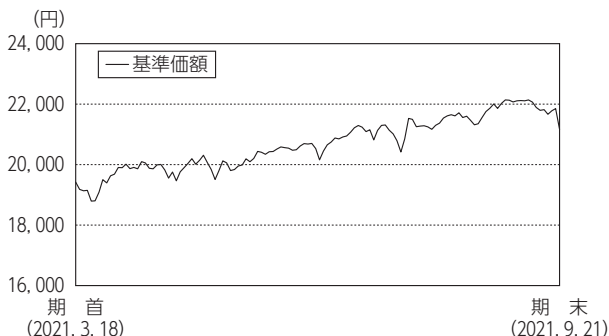
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率		投資信託 証 券 組入比率	
	騰落率		騰落率					
(期首) 2021年 3 月18日	円	%	(参考指数)	%	%	%	%	%
3 月末	19,420	—	22,804	—	97.9	—	—	—
4 月末	19,629	1.1	23,078	1.2	97.7	—	—	—
5 月末	20,195	4.0	24,157	5.9	97.9	—	—	—
6 月末	20,407	5.1	24,299	6.6	98.8	—	—	—
7 月末	20,945	7.9	24,991	9.6	97.9	—	—	—
8 月末	21,284	9.6	25,479	11.7	98.7	—	—	—
9 月末	22,138	14.0	26,209	14.9	98.0	—	—	—
(期末) 2021年 9 月21日	21,166	9.0	25,143	10.3	98.0	—	—	—

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,420円 期末：21,166円 騰落率：9.0%

【基準価額の主な変動要因】

主に米国の株式に投資した結果、米国で追加経済対策が発表されたことや、良好な企業業績の発表を受けて景気回復期待が高まったことなどを背景に米国株式市況が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。また為替相場においても、米ドルが円に対して上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、当作成期首より、米国で追加経済対策が発表されたことや、新型コロナウイルスのワクチンの接種が進んで新規感染者数が減少したことなどが好感され、上昇しました。その後は、インフレ懸念の高まりや金融緩和縮小の早期化観測などから一時的に調整する場面はあったものの、ワクチン接種の進展を受けて種々の行動制限が解除されたことや良好な企業業績の発表などが好感され、史上最高値を更新しました。当作成期末にかけては、中国の不動産開発大手企業のデフォルト (債務不履行) 懸念から世界的にリスク回避の動きが強まり、上げ幅を縮小しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国で追加経済対策が発表されたことや、新型コロナウイルスのワクチンの接種が進んで新規感染者数が減少したことなどが好感され、上昇しました。その後は、インフレ懸念の高まりや金融緩和縮小の早期化観測などから一時的に調整する場面はあったものの、ワクチン接種の進展を受けて種々の行動制限が解除されたことや良好な企業業績の発表などが好感され、史上最高値を更新しました。当作成期末にかけては、中国の不動産開発大手企業のデフォルト (債務不履行) 懸念から世界的にリスク回避の動きが強まり、上げ幅を縮小しました。

○為替相場

米ドル為替相場は、当作成期首を通して見ると対円で上昇しました。

当作成期首より、追加経済対策の成立や経済指標の改善によって米国金利が上昇したことなどから、米ドルは対円で上昇しました。その後はいったん下落 (円高) しましたが、利上げ観測の高まりなどを受けて再び米ドルは上昇基調で推移しました。2021年 7 月以降は、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加を受けた景気への懸念や、物価上昇圧力の鈍化が意識されて米国金利が低下したことなどをを受け、米ドルは小幅に下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業 (自社株買いに積極的な企業) を選定していく方針です。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオは、米国のバイバック企業に投資し、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。業種別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、コミュニケーション・サービスセクターの組入比率を高位に維持しました。個別銘柄では、各企業の時価総額や成長性、株価バリュエーションなどを総合的に勘案し、MICROSOFT CORP (情報技術)、APPLE INC (情報技術)、ALPHABET INC-CL A (コミュニケーション・サービス) などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	15円 (15)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合 計	19

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

当 期				期 末			
買 付		株 数		売 付		株 数	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	0.81	201,606	248,897	BIOGEN INC (アメリカ)	5.5	162,385	29,524
APPLE INC (アメリカ)	13.6	198,228	14,575	MCKESSON CORP (アメリカ)	7.4	157,674	21,307
MICROSOFT CORP (アメリカ)	6.4	179,692	28,076	PALO ALTO NETWORKS INC (アメリカ)	3.7	144,433	39,036
FACEBOOK INC-CLASS A (アメリカ)	3.9	135,503	34,744	JPMORGAN CHASE & CO (アメリカ)	8.2	138,628	16,905
PAYPAL HOLDINGS INC (アメリカ)	2.6	77,523	29,816	UNION PACIFIC CORP (アメリカ)	5.4	131,176	24,292
AMAZON.COM INC (アメリカ)	0.19	70,719	372,208	CITIGROUP INC (アメリカ)	15	117,893	7,859
UNITEDHEALTH GROUP INC (アメリカ)	1.6	70,711	44,194	ALTICE USA INC- A (アメリカ)	28.2	100,595	3,567
ADOBE INC (アメリカ)	1.2	70,686	58,905	MORGAN STANLEY (アメリカ)	10.1	92,689	9,177
NEXTERA ENERGY INC (アメリカ)	7.4	66,215	8,948	WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC (アメリカ)	12.7	68,585	5,400
ALIGN TECHNOLOGY INC (アメリカ)	0.9	62,008	68,898	INVESCO LTD (バミューダ)	24.1	68,132	2,827

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
PALO ALTO NETWORKS INC	34	6	284	31,187	情報技術
SYNCHRONY FINANCIAL	69	16	75	8,288	金融
ABBOTT LABORATORIES	22	25	312	34,205	ヘルスケア
ADOBE INC	—	9	577	63,239	情報技術
CITIGROUP INC	150	—	—	—	金融
HUNTSMAN CORP	108	—	—	—	素材
APPLE INC	54	148	2,115	231,796	情報技術

■売買および取引の状況

株 式

(2021年 3 月19日から2021年 9 月21日まで)					
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国		百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
アメリカ		1,554.8 (17)	24,270 (△ 105)	3,420.4	29,727

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

銘 柄	期 首	当	期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	23	25	301	33,002	金融
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	63	—	—	—	金融
JPMORGAN CHASE & CO	114	32	489	53,631	金融
DOLLAR GENERAL CORP	11	6	133	14,580	一般消費財・サービス
CATERPILLAR INC	15	7	133	14,635	資本財・サービス
DELTA AIR LINES INC	94	—	—	—	資本財・サービス
MORGAN STANLEY	157	56	552	60,518	金融
BROADCOM INC	—	9	445	48,795	情報技術
QUANTA SERVICES INC	16	19	221	24,297	資本財・サービス
FEDERATED HERMES INC	63	25	74	8,146	金融
MOLINA HEALTHCARE INC	12	7	194	21,275	ヘルスケア
XPO LOGISTICS INC	25	15	124	13,593	資本財・サービス
RELIANCE STEEL & ALUMINUM	9	—	—	—	素材
ACTIVISION BLIZZARD INC	18	—	—	—	コミュニケーション・サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC	—	8	567	62,204	ヘルスケア
HCA HEALTHCARE INC	—	6	153	16,766	ヘルスケア
CABOT OIL & GAS CORP	76	—	—	—	エネルギー
AMAZON.COM INC	1.3	1.4	469	51,476	一般消費財・サービス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	—	36	424	46,541	ヘルスケア
EXXON MOBIL CORP	—	31	166	18,236	エネルギー
AGILENT TECHNOLOGIES INC	—	21	359	39,424	ヘルスケア
NEXTERA ENERGY INC	—	60	490	53,704	公益事業
UNITED RENTALS INC	10	11	362	39,728	資本財・サービス
FISERV INC	36	—	—	—	情報技術
GENERAL MOTORS CO	24	—	—	—	一般消費財・サービス
GOLDMAN SACHS GROUP INC	10	15	567	62,147	金融
ALPHABET INC-CL A	—	6.3	1,747	191,513	コミュニケーション・サービス
HOME DEPOT INC	—	7	231	25,403	一般消費財・サービス
HARLEY-DAVIDSON INC	16	—	—	—	一般消費財・サービス
HP INC	89	—	—	—	情報技術
ZOETIS INC	—	12	238	26,115	ヘルスケア
JOHNSON & JOHNSON	—	18	294	32,307	ヘルスケア
ABBVIE INC	—	17	180	19,819	ヘルスケア
LGI HOMES INC	8	4	60	6,581	一般消費財・サービス
LOWE'S COS INC	14	9	184	20,242	一般消費財・サービス
ELI LILLY & CO	20	12	277	30,456	ヘルスケア
LAM RESEARCH CORP	12	5	294	32,318	情報技術
FACEBOOK INC-CLASS A	—	34	1,209	132,511	コミュニケーション・サービス
METLIFE INC	77	—	—	—	金融
MASCO CORP	29	—	—	—	資本財・サービス
NETAPP INC	—	41	364	39,968	情報技術
NIKE INC -CL B	—	17	262	28,731	一般消費財・サービス
MCKESSON CORP	76	8	161	17,696	ヘルスケア
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	7	5	299	32,816	一般消費財・サービス
ALTICE USA INC- A	282	—	—	—	コミュニケーション・サービス
CONOCOPHILLIPS	—	15	85	9,379	エネルギー
MICHAELS COS INC/THE	48	—	—	—	その他
PEPSICO INC	—	22	337	37,028	生活必需品
ACCENTURE PLC-CL A	—	16	531	58,254	情報技術
QUALCOMM INC	33	11	146	16,001	情報技術
INVESCO LTD	241	—	—	—	金融
REGENERON PHARMACEUTICALS	—	3	192	21,066	ヘルスケア
BOOKING HOLDINGS INC	2.5	0.7	163	17,953	一般消費財・サービス

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

銘柄		期首	当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A		12	3.8	287	31,473	コミュニケーション・サービス	
TRAVELERS COS INC/THE		35	—	—	—	金融	
ON SEMICONDUCTOR CORP		111	—	—	—	情報技術	
SEMPRA ENERGY		14	—	—	—	公益事業	
JOHNSON CONTROLS INTERNATION		—	40	290	31,876	資本財・サービス	
UNION PACIFIC CORP		57	3	59	6,504	資本財・サービス	
MARATHON OIL CORP		113	—	—	—	エネルギー	
MARATHON PETROLEUM CORP		39	—	—	—	エネルギー	
UNITEDHEALTH GROUP INC		—	13	536	58,785	ヘルスケア	
ULTA BEAUTY INC		—	9	332	36,461	一般消費財・サービス	
ANTHEM INC		—	2	75	8,259	ヘルスケア	
WELLS FARGO & CO		88	37	169	18,571	金融	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC		40	—	—	—	生活必需品	
VISA INC-CLASS A SHARES		—	15	330	36,166	情報技術	
NVIDIA CORP		10	42	886	97,160	情報技術	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC		8	6	354	38,800	ヘルスケア	
MASTERCARD INC - A		—	4	135	14,887	情報技術	
BANK OF AMERICA CORP		168	51	199	21,854	金融	
ANALOG DEVICES INC		—	6	101	11,141	情報技術	
EMERSON ELECTRIC CO		—	26	246	26,969	資本財・サービス	
EATON CORP PLC		—	19	297	32,580	資本財・サービス	
APPLIED MATERIALS INC		43	25	338	37,125	情報技術	
SCHWAB (CHARLES) CORP		37	18	123	13,569	金融	
INTEL CORP		25	—	—	—	情報技術	
ILLINOIS TOOL WORKS		20	3	64	7,082	資本財・サービス	
ILLUMINA INC		—	4	175	19,196	ヘルスケア	
TARGET CORP		15	13	314	34,490	一般消費財・サービス	
JACOBS ENGINEERING GROUP INC		13	12	153	16,814	資本財・サービス	
MICROSOFT CORP		27	73	2,148	235,399	情報技術	
MICRON TECHNOLOGY INC		86	14	101	11,101	情報技術	
BLACKROCK INC		—	3	257	28,179	金融	
KOHL'S CORP		21	—	—	—	一般消費財・サービス	
PAYPAL HOLDINGS INC		—	11	296	32,531	情報技術	
BIOGEN INC		57	2	59	6,541	ヘルスケア	
STARBUCKS CORP		—	20	223	24,504	一般消費財・サービス	
INTUIT INC		14	11	609	66,820	情報技術	
BOSTON SCIENTIFIC CORP		—	20	87	9,563	ヘルスケア	
ELECTRONIC ARTS INC		—	10	130	14,253	コミュニケーション・サービス	
ファンド合計		株数、金額	3,221.8	1,373.2	26,250	2,876,259	
		銘柄数＜比率＞	63銘柄	74銘柄		<98.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年9月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	2, 876, 259	86. 7
コール・ローン等、その他	439, 963	13. 3
投資信託財産総額	3, 316, 222	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.57円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (2,927,781千円) の投資信託財産総額 (3,316,222千円) に対する比率は、88.3% です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年9月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3, 316, 222, 216円
コール・ローン等	438, 529, 990
株式 (評価額)	2, 876, 259, 034
未収配当金	1, 433, 192
(B) 負債	380, 000, 000
未払解約金	380, 000, 000
(C) 純資産総額 (A－B)	2, 936, 222, 216
元本	1, 387, 214, 492
次期繰越損益金	1, 549, 007, 724
(D) 受益権総口数	1, 387, 214, 492口
1万口当り基準価額 (C／D)	21, 166円

* 期首における元本額は1,683,519,800円、当作成期間中における追加設定元本額は26,650,126円、同解約元本額は322,955,434円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジあり) 253,665,395円、ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジなし) 1,133,549,097円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は21,166円です。

■損益の状況

当期 自 2021年3月19日 至 2021年9月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	15, 150, 144円
受取配当金	15, 154, 131
支払利息	△ 3, 987
(B) 有価証券売買損益	283, 250, 838
売買益	420, 145, 713
売買損	△ 136, 894, 875
(C) その他費用	△ 563, 334
(D) 当期損益金 (A＋B＋C)	297, 837, 648
(E) 前期繰越損益金	1, 585, 864, 768
(F) 解約差損益金	△ 359, 044, 566
(G) 追加信託差損益金	24, 349, 874
(H) 合計 (D＋E＋F＋G)	1, 549, 007, 724
次期繰越損益金 (H)	1, 549, 007, 724

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。